



 福島印刷株式会社

〒920-0357 金沢市佐奇森町ル6番地
TEL(076)267-5111(代) FAX(076)267-8065
URL <http://www.fuku.co.jp/>



C906

福島印刷株式会社
証券コード 7870



ふくしまみちお
代表取締役社長 福島理夫

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに、第55期中間期(平成18年8月21日から平成19年2月20日まで)の営業の概況についてご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、企業収益の改善、設備投資の増加、雇用・所得の改善により個人消費も持ち直しを見せるなど、景気は回復基調が継続しました。

印刷業界におきましては、企業の業務合理化やネットワーク化による需要量減少と用紙を中心とした材料費の高騰により厳しい経営環境で推移しました。

このような経営環境の中、当社は顧客ニーズに沿った企画提案活動を推進し、独自技術による「ならでは」商品と「ならでは」サービスの拡販に努めてまいりました。また、前事業年度竣工の第二工場棟の有効活用、前事業年度に導入したDM(ダイレクトメール)加工ラインの本格稼働、新設の高速8色輪転印刷機の早期立ち上げに取り組むと同時に、「A4ブックUD(ユニバーサルデザイン)メール」、個人情報保護対応の「情報保護シール付はがき」などの販売強化に取り組んできました。

生産面では、業務集中時の過負荷の改

善を図るため、変形労働時間制を導入し、弾力的な生産体制、勤務体系を構築し、ワークライフバランスの浸透を図り、生産効率の向上とコストダウンに取り組んでまいりました。また、開発面では、独自技術による高付加価値商品の開発を持続的に推進してまいりました。さらに、プロセス全体を保証する品質保証体制の強化と全社全業務での情報セキュリティ体制の更なる進化を図り、社会から「信頼される企業」を目指し、管理体制の強化に努めてまいりました。

その結果、当中間期の売上高は、前年同期を36百万円(1.3%)上回る28億46百万円となりました。また、利益面においては、前事業年度の大型設備投資による減価償却費負担の増加に伴い、経常利益は前年同期を16百万円(33.7%)下回る31百万円、中間純利益は第二工場の工場立地法助成金を特別利益に計上したため、前年同期を21百万円(89.2%)上回る44百万円となりました。なお、中間配当金につきましては、1株あたり5円とさせていただきます。年間では10円の配当を予定しております。

今後の見通しにつきましては、わが国経済は、国内外の需要拡大を反映して持続的成長が期待されるものの、米国景気の減

速や材料価格のさらなる上昇などが懸念され、予断を許さない経営環境が続くものと予想されます。

印刷業界におきましても、ネットワーク化に伴う需要量の減少、価格競争の激化などに加え、用紙価格の再値上げも予想され、引き続き市場環境は厳しいものと予想されます。

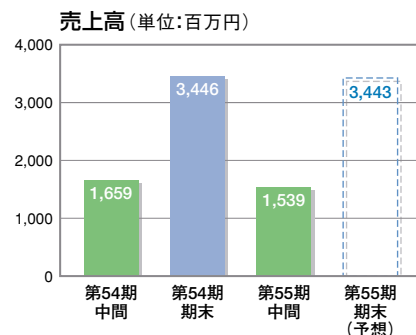
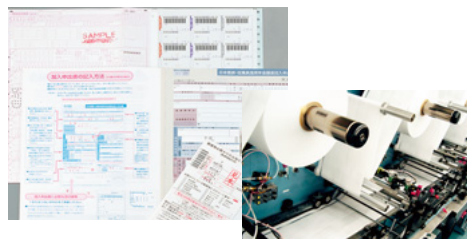
このような状況を踏まえ、当社は、独自技術による「ならでは」商品と「ならでは」サービスによる市場の創造を図るとともに、企業収益力改善の取り組みを推進してまいります。販売面では、売価設定基準の見直しと営業効率の向上を図ってまいります。生産面では、フレキシブルな生産体制を確立しワークライフバランスの向上を図り、生産効率改善とコストダウンに注力していきます。また、情報セキュリティ体制と品質保証体制のさらなる進化を図り、企業ブランドの浸透と向上に努めてまいります。

なお、通期の業績予想といたしましては、売上高60億30百万円、経常利益1億12百万円、当期純利益62百万円を見込んでおります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

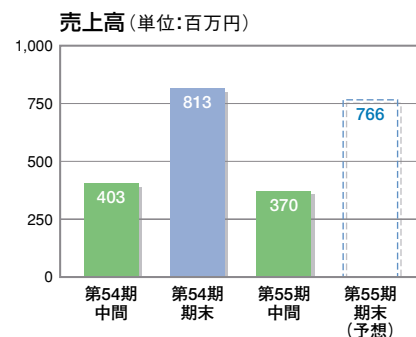
ビジネスフォーム関連

ビジネスフォーム関連は、紙媒体から電子媒体への移行が進展するなど、需要縮小傾向に歯止めがかからず、プライバシー保護を目的とした「情報保護シール付はがき」関連商品や新規多機能帳票、事務通信DPS（データプリントサービス）が好調に推移したものの、売上高は前年同期を1億19百万円（7.2%）下回る15億39百万円となりました。



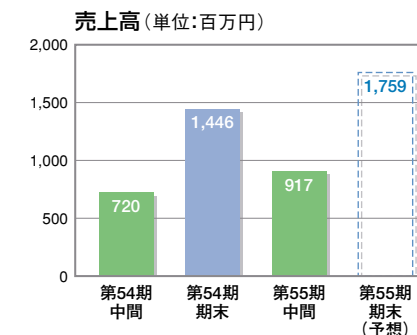
カラー・文字物関連

カラー・文字物等商業印刷分野は、好調だった前事業年度の反動もあり、カラー頁物受注が落ち込み、売上高は前年同期を33百万円（8.3%）下回る3億70百万円となりました。



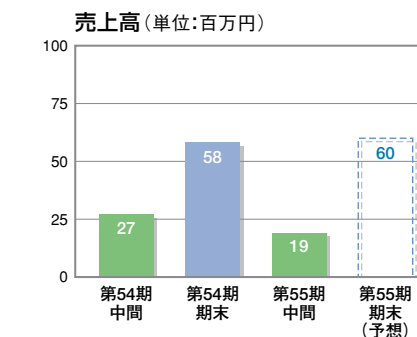
DM・DPS関連

DM（ダイレクトメール）・DPS関連は、都市圏の旺盛な受注を取り込み、「A4ブックUD（ユニバーサルデザイン）メール」、「あと糊はがき」が堅調に推移しました。その結果、売上高は前年同期を1億97百万円（27.4%）上回る9億17百万円となりました。



ビジネスマルチメディア関連

ホームページ、電子カタログ等商品DB（データベース）関連等Web関連商品の企画提案活動を展開しましたが、売上高は前年同期を8百万円（29.3%）下回る19百万円となりました。



ダイレクトメールの常識が変わります

A4 ブック型のダイレクトメールを実現いたしました。

UD(ユニバーサルデザイン)メール
【特許出願商品】

- ・従来のダイレクトメール(DM)では表現しきれなかった。
- ・パンフレットではお客様とのコミュニケーションが図れなかった。
- ・カタログでは利用範囲が制限されていた。



■UDメール
A4サイズですので、従来のDMIに比べ発信できる情報量は格段に多くなりました。写真が大きく扱えますので、商品PRIには最適です。

こうした問題にお応えしていく中で醸成された機能とスタイル。福島印刷のDMノウハウを一冊に集約したオリジナル商品です。

信頼されるデータプリントサービスを提供いたします

数多くの実績とノウハウで信頼にお応えいたします。

「国民健康保険証の出力～封入業務」「住民検診結果通知の出力～封入業務」「各種DMの出力～発送業務」など、数多くの実績を積み重ねてきました。高度なフロー設計ノウハウ、多様な出力後バリエーション、徹底した正確性でお客様の信頼にお応えいたします。またお客様とのプロミスを果たすために、情報セキュリティ体制、品質保証、開発力の向上に努めてまいります。



■DPS(データプリントサービス)室
2月に高速プリンター2台を増設し、ラインの能力を6割強アップしました。室内への立ち入りはACカードキーにより厳格に制限しています。

情報セキュリティ体制

当社は、お客様の大切な情報をお預かりし加工する情報加工サービスを行っています。このサービスの運用には、お預かりする情報の重要性和取り扱いにかかるリスクを正しく認識し、それらに沿った情報セキュリティ体制を確立することが不可欠です。そこで、情報を取り扱うすべての者を対象とした情報セキュリティ基本方針を定め、情報に要求される機密性・完全性・可用性を維持する活動を展開しています。



■個人情報・顧客情報管理データベース
お客様からお預かりした個人情報・顧客情報は、すべて情報管理データベースに登録され、取り扱い情報の履歴が残されます。

子育て支援体制

育児に限らず親族の介護や病気、子どもの教育など多様な事情をもつ社員が活躍できる職場環境づくりをめざして、「育児短時間勤務制度」とともに「勤務時間選択職制度」を導入しました。これはキャリア形成に対する考え方の違いを考慮し、所定労働時間によって勤務形態を3タイプに分け、タイプ別に基本給・賞与を設定したものです。その結果「女性が働きやすい職場」として評価され、平成18年には石川県ワークライフバランス企業知事表彰『優良企業賞』を受賞いたしました。



■管理本部
当社では社員の30%に相当する百人以上の女性社員が働いています。育児休暇の取得率は100%。職場復帰率も80%程度と高い水準になっています。

■ 中間貸借対照表

科 目	単位：千円	
	当中間会計期間末 (平成19年2月20日)	前中間会計期間末 (平成18年2月20日)
【資産の部】		
流動資産	2,107,829	1,849,990
現金及び預金	547,783	325,198
受取手形	419,735	402,749
売掛金	742,474	730,249
たな卸資産	321,725	303,248
繰延税金資産	71,543	86,064
その他	8,324	4,407
貸倒引当金	△ 3,757	△ 1,926
固定資産	4,770,476	3,296,504
有形固定資産	4,509,968	3,001,113
建物	2,056,246	963,958
機械及び装置	1,080,713	705,285
土地	965,106	965,106
その他	107,902	32,386
建設仮勘定	300,000	334,376
無形固定資産	8,043	9,572
投資その他の資産	252,464	285,819
投資有価証券	120,135	149,613
その他	134,406	140,456
貸倒引当金	△ 2,077	△ 4,250
資産の部合計	6,878,305	5,146,495

科 目	単位：千円	
	当中間会計期間末 (平成19年2月20日)	前中間会計期間末 (平成18年2月20日)
【負債の部】		
流動負債	1,533,702	1,307,066
買掛金	226,792	233,098
短期借入金	470,000	540,000
1年内返済予定の長期借入金	312,720	100,000
未払法人税等	75,822	43,179
賞与引当金	108,343	106,039
役員賞与引当金	6,426	—
その他	333,599	284,748
固定負債	1,684,301	235,353
長期借入金	1,540,900	—
繰延税金負債	62,807	50,340
退職給付引当金	20,416	131,485
役員退職慰労引当金	60,177	53,527
負債の部合計	3,218,004	1,542,419
【純資産の部】		
株主資本	3,647,716	3,579,330
資本金	460,000	460,000
資本剰余金	285,200	285,200
資本準備金	285,200	285,200
利益剰余金	2,902,516	2,834,130
利益準備金	96,200	96,200
その他利益剰余金	2,806,316	2,737,930
固定資産圧縮積立金	172,153	172,153
別途積立金	2,555,000	2,505,000
繰越利益剰余金	79,163	60,777
評価・換算差額等	12,585	24,745
その他有価証券評価差額金	12,585	24,745
純資産の部合計	3,660,301	3,604,075
負債及び純資産の部合計	6,878,305	5,146,495

(記載金額は千円未満切捨)

(注) 前中間期につきましては、当中間期の表示区分に組み替えて表示しています。

■ 中間損益計算書

科 目	単位：千円	
	当中間会計期間 (自平成18年8月21日 至平成19年2月20日)	前中間会計期間 (自平成17年8月21日 至平成18年2月20日)
売上高	2,846,773	2,810,635
売上原価	2,148,097	2,111,499
売上総利益	698,676	699,136
販売費及び一般管理費	658,955	654,325
営業利益	39,721	44,810
営業外収益	11,185	10,675
営業外費用	19,203	7,675
経常利益	31,702	47,810
特別利益	54,118	6,773
特別損失	347	8,220
税引前中間純利益	85,474	46,364
法人税、住民税及び事業税	70,500	38,000
法人税等調整額	△ 29,721	△ 15,261
中間純利益	44,695	23,626

(記載金額は千円未満切捨)

■ 中間キャッシュ・フロー計算書

科 目	単位：千円	
	当中間会計期間 (自平成18年8月21日 至平成19年2月20日)	前中間会計期間 (自平成17年8月21日 至平成18年2月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	521,265	203,304
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 161,905	△ 217,535
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 136,114	△ 41,072
現金及び現金同等物の増加額	223,245	△ 55,302
現金及び現金同等物の期首残高	240,297	281,460
現金及び現金同等物の中間期末残高	463,543	226,158

(記載金額は千円未満切捨)

■ 株主資本等変動計算書

(平成18年8月21日～平成19年2月20日)

	株主資本						評価・換算 差額等	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本 合計		
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金				
	固定資産 圧縮積立金	別途 積立金	繰越利益 剰余金			その他 有価証券 評価差額金		
平成18年8月20日残高	460,000	285,200	96,200	172,153	2,505,000	114,467	3,633,020	17,588
中間会計期間中の変動額								
剰余金の配当						△ 30,000	△ 30,000	
別途積立金の積立					50,000	△ 50,000	—	
中間純利益						44,695	44,695	
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額(純額)								△ 5,002
中間会計期間中の変動額合計	—	—	—	—	50,000	△ 35,305	14,695	△ 5,002
平成19年2月20日残高	460,000	285,200	96,200	172,153	2,555,000	79,163	3,647,716	12,585

(記載金額は千円未満切捨)



■役員 (平成19年4月27日現在)

代表取締役社長	福島 理 夫	取締役	三浦 隆 弘
専務取締役	下 島 学	取締役	古 林 孝 之
常務取締役	山 本 弘	常勤監査役	岩 見 隆
常務取締役	館 芳 昭	監 査 役	中 野 弘 史
取 締 役	粟 津 十 志 実		

■会社の概要

商 号	福島印刷株式会社
英 文 名	FUKUSHIMA PRINTING CO.,LTD.
本 店 所 在 地	〒920-0357 金沢市佐奇森町ル6番地 TEL (076)267-5111(代)
設 立	昭和27年9月10日
資 本 金	4億6,000万円
従 業 員 数	383名
事 業 所	本社及び工場 金沢市佐奇森町ル6番地 富山営業所 富山市上袋715番地1 福井営業所 福井市問屋町3丁目811番地 東京営業所 東京都中央区日本橋本町4丁目5番14号 入江ビル6F 大阪営業所 大阪市中央区平野町3丁目3番8号 辻梅ビル3F 名古屋営業所 名古屋市中区金山1丁目2番2号 クマダ第2ビル5F

事業年度 8月21日から翌年8月20日まで
 定時株主総会 11月
 基準日 定時株主総会 8月20日
 期末配当 8月20日
 中間配当 2月20日
 その他必要があるときは、予め公告して定めた日

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
 中央三井信託銀行株式会社

同事務取扱所 [郵便物送付先]
 [電話照会先]
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 証券代行事務センター(〒168-0063)
 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)

同 取 次 所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店
 (お知らせ)

住所変更、名義書換請求及び配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、下記株主名簿管理人中央三井信託銀行のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。

- フリーダイヤル 0120-87-2031 (24時間受付:自動音声案内)
- ホームページ http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

単 元 株 式 数 100株
 上 場 証 券 取 引 所 名古屋証券取引所
 公 告 方 法 電子公告により当社ホームページ (<http://www.fuku.co.jp/>) に掲載いたします。

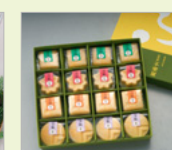
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載する方法とします。

株 主 優 待 制 度 8月20日基準日現在1,000株以上の株主を対象に、3,000円相当の自社指定特産品4品から1品を、ご希望に応じて送付。

平成18年優待品



金沢五郎島金時



「不室屋」
宝の麩詰め合わせ



「十字屋」
一夜干詰め合わせ



「金沢ニューグランドホテル」
評判のビーフカレー